

令和4年度 奨学後援会新年度役員会資料

学校の概況(令和3年度)

令和4年5月25日

広島商船高等専門学校

目 次

ご挨拶（校長 河口 信義）	1
学生教育（教務主事 大山 博史）	2
1. 主な取り組み	
2. 学校の現状	
学生支援（学生主事 大和田 寛）	3
1. 就学支援・入学金や授業料免除，各種奨学金制度について	
2. 学生会活動支援	
3. 課外活動支援	
学寮生活（寮務主事 小林 豪）	4
1. 寮生数と再入寮制度について	
2. 寮の現状	
広報活動（広報主事 平井 剛和）	5
1. 令和3年度の主な取組	
2. 入学生の状況，情報の共有	
3. 今年度の取組	
進路指導—商船学科—（商船学科 就職担当 内山 憲子，茶園 敏文）	6
1. 進路概要	
2. 求人・求職の傾向	
3. 進路指導	
進路指導—電子制御工学科—（電子制御工学科 就職担当 成清 勝博）	7
1. 進路の概況	
2. 進路状況	
進路指導—流通情報工学科—（流通情報工学科 進路指導担当 加藤 博明）	8
1. 進路指導（学科の取り組み）	
2. 進路の概況	

ご挨拶

校長 河口 信義

奨学後援会会員の皆様におかれましては、本校の発展に寄与するための教育振興助成につきまして、平素よりご理解とご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度は五月の連休明けに寮内におきまして新型コロナウイルス感染が発生したため、その後暫くの間は寮生の皆さんには保健所の指導ではございますが外出・外泊の自粛を強いることとなり、また通学生の皆さんにも登校すること無く自宅あるいは下宿先にて遠隔による授業を受けることとなり、誠に申し訳ございませんでした。学生および保護者の皆さん方にご協力いただきました結果として、その後校内におきまして二次感染を生じることなく収束を迎えることができましたこと、大変ありがたく思っております。収束後におきましては、学生の皆さんの学びを妨げることなく通常の学校生活を送れるべく学校運営を行って参りました。

本年度におきましても、With コロナであることを念頭におきながらコロナ対策を十二分に施した上で、本校学生一人一人がさらに充実した学校生活を送ることが出来ますよう、教職員一同頑張っていく所存でございます。

残念ながら、本年度におきましても会員の皆様方に参加いただきますような総会開催を行うことはかないませんが、ここでは主に各担当主事教員から昨年度本校で実施しました学生教育・学生支援・学寮生活・広報活動について、さらに進路指導教員から各学科における進路指導の概要並びにその取組について報告しており、簡潔でわかり易く記載したつもりではございますが記載内容につきましてご質問などがお有りの場合には遠慮なくお申し出下さい。会員の皆様方におかれましては十分とは言えない情報ではございますが本報告書におきまして本校の現状をご理解いただき、今後とも今まで同様にご協力賜りますようお願い申し上げます。

学生教育

教務主事 大山 博史

1. 主な取り組み

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応：令和3年度は5月に新型コロナウイルス陽性者が確認されたため、5月から約1か月間すべての学生の通常授業を行うことができなくなり、Blackboard, Teamsなどを使ってのオンライン授業となりました。6月からはオンラインでは実施できなかった実験、実習の集中フォローアップ授業を経て、6月中頃から通常の対面授業に戻すことができました。これに伴い前期中間試験は実施できませんでした。6月末には大崎上島町に住民票のある学生及び教職員ワクチン接種をするために時間を設けていただきました。ワクチン接種については、専攻科生を含め全学年に3週間あけて2回接種いたしました。夏休みに予定していた学級懇談会は、デルタ株による感染が急拡大したため中止とさせていただきます。海技教育機構における乗船実習を行う商船学科3年生のみの授業を9月からは10月に実施いたしました。後期にはほぼ通常通りに授業をすることができ、10月末には商船祭、12月には2泊3日4年生の工場見学、1泊2日の1,2年生の社会見学、3年生の社会見学、練習船広島丸での泊を伴う航海実習と、それまで実施できなかった学校行事を何とか実施できました。1月には予定通り授業を実施し学年末試験を実施することができましたが、オミクロン株による感染が急拡大したため、2月後半に実施する予定であった成績不振の学生への単位追認を中止とし2月10日で年度を終了といたしました。その為、単位追認については次年度に持ち越しとなりました。コロナウイルス感染対策に翻弄されながらも学生たちは前向きに学生生活に取り組んでくれた一年でした。
- (2) 高専教育の質保証：現在、高専全体で、「学生が自ら成長できる環境の整備および教育の実践」に取り組んでいます。高専機構が設定した重点6項目に基づき、学生が学習だけではなく、色々な場面でリーダーシップやコミュニケーション能力を身に付け、学年の垣根を越えて助け合う力を持てる教育を整えつつあります。また、学生の能力を客観的なデータに基づき評価できる体制も構築しつつあります。MCC(モデルコアカリキュラム：学生が卒業までに身に付けるべき知識や能力の具体的な到達目標として授業のシラバス作成)やCBT(Computer Based Testing：MCCに基づいた教育によって学生に力がついていることを証明するためのテスト)を既に実施しています。

2. 学校の現状

- (1) 留年と退学：図1に、ここ10年間の留年率と退学率の推移を示します。令和3年度は、前年度に比べ留年率は下がりましたが、退学率は増加しました。図2に、今年度の学科・学年別の退学者を示します。14名退学し他専攻科生も2名退学しました。4年生の退学者が多くなっていますが、前年度の授業がオンラインであったため学習がうまくいかないまま本年度を迎え苦しむ結果となってしまっています。オンライン教育の難しさが現れた結果となっています。
- (2) ご協力をお願い：学校としましては、授業の改善はもちろんのこと、担任・学生指導関係・学寮・学生相談室等とさらなる連携をとりながら学生支援を行ってまいりますので、保護者の皆様におかれましても引き続きご協力の程よろしく申し上げます。

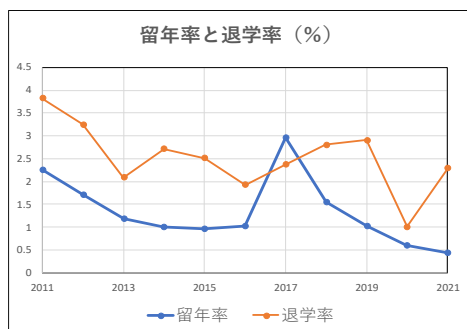


図1 留年率と退学率の推移

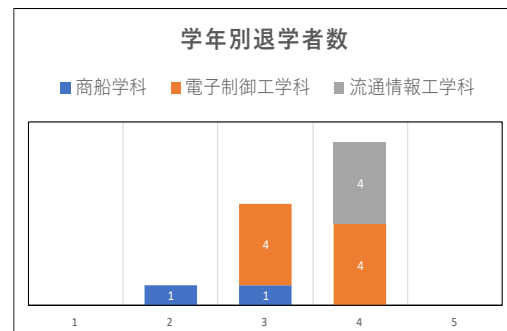


図2 退学者数

学生支援

学生主事 大和田 寛

奨学後援会への皆様には、課外活動等の様々な活動について日頃から多大なるご支援を頂き大変感謝しております。本校では、長期休暇明け、対外試合参加後、就職活動での宿泊後、また登校や帰寮する前には抗原検査等をお願いしておりますが、検査費用の一部について奨学後援会にご支援いただきました。このご支援のおかげで、近隣の一部高専が学校を再開できない中でも、本校は学校生活や寮生活、課外活動等の学校行事を継続することができております。新年度も学生の安全や感染症対策に十分な対策を講じつつ、学生の人間的成長のきっかけとなるような様々な課外活動を実施していきたいと考えておりますので、引き続きご支援いただければ幸いに存じます。

1. 就学支援・入学金や授業料の免除、各種奨学金制度について

1年生から3年生までの学生に関しては就学支援金制度により授業料の支援を行っています。4年生以上の学生には授業料免除の制度があり、令和2年度からは高等教育の修学支援新制度という新たな制度が始まりました。新制度では、授業料減免に加え奨学金の給付が行われます。旧来の授業料免除制度は新制度に置き換わりますが、令和元年度に4年生以上に在学していた学生は、卒業または専攻科を修了するまで、新制度に加えて旧来の授業料免除制度を受けることができます。令和3年度は、50名が授業料免除制度の対象となりました。

その他、入学金や授業料等の免除、各種奨学金の案内や手続き等については、ホームページや電子掲示板で案内しておりますので、申請する場合は、学生係で必要な書類等を受け取り、期限内の提出をお願いいたします（学生係：0846-67-3023）。

2. 学生会活動支援

学生たちの自治組織として、学生会があります。学生会長をはじめとする学生会メンバーを中心として、様々な課外活動や商船祭、クラスマッチなどの学校行事に取り組んでいます。昨年度は、コロナ禍でも何ができるのか学生自ら考え、感染対策に配慮しながらクラスマッチや商船祭を実施することができました。また、商船祭ではオンライン配信や花火大会等、コロナ禍をきっかけとして新しいことも挑戦できております。

3. 課外活動支援

本校では、学生たちの心身の健全な育成のために17の体育系のクラブ・同好会、10の文化系のクラブ・同好会があり、放課後を中心に活動しています。今年度も、感染対策に十分注意しながらも、高専体育大会や瀬戸内2校定期戦、高体連の大会等の対外試合等について実施してまいります。

これからもコロナ禍における様々な制限が続きますが、学生が主体的に計画する様々な活動について、側面から支援してまいります。今後とも課外活動への応援とご支援、何卒よろしく願い申し上げます。

学寮生活

寮務主事 小林 豪

1. 寮生数と再入寮制度について

○寮生数

若潮寮は、令和3年4月に91名の新入寮生（男子74名、女子17名）を迎え入れ、全寮生数は421名でのスタートになりました。昨年度（令和2年）は、新型コロナウイルス感染の流行の為、入寮式が6月の開催でしたが本年度は桜が咲いている4月の入寮式となりました。

○再入寮制度

近年、新入寮生は90名を超えており、入学者の約8割が寮生となっています。本校の学生寮の入寮期限は3年間となっており、4年次からは再入寮許可制となっています。4年進級時と5年進級時に再入寮手続きが必要となります。その際、新入生の居室数及び高学年用居室数の関係により学寮の収容人数の超過が予想される場合、生活態度が乱れている場合、公共交通機関を利用したの通学が可能な場合等に、再入寮を許可しないことがあります。

寮生数（令和3年4月）			
学年	男子	女子	合計
1年	74	17	91
2年	69	25	94
3年	72	18	90
4年	60	14	74
5年	58	14	72
合計	333	88	421

2. 寮の現状

○寮の修繕工事

令和3年4月より、女子寮生の増加に伴い、これまで男子寮生が利用していた1棟（A棟）の2・3階を女子学生の居住区とし、1棟（1階は男子高学年、2・3階は女子）、2棟（女子）、3・4棟（男子1～3年）、5棟（男子4・5年）となりました。これにより男女共に4・5年生は全員1人部屋となりました。女子学生においては、現状においては3年生も1人部屋となりました。3・4棟の1～3年男子寮生は、1人部屋若しくは2人部屋です。

各棟各階補食室に備え付けていたガスコンロをIHコンロに変更しました。

寮の建物自体が大変古くなっており、色々と修繕が必要な個所が出てきています。トイレの整備、エアコンの整備等検討していきます。

○寮生会活動

コロナ禍において様々な局面で寮生会が活躍してくれています。寮生の意見集約、清掃活動の計画立案、景品大会等、コロナ禍においてもできる活動を積極的に行っています。寮生会によるこれらの活動・取り組みが、他の学生の模範となった団体及び学生を対象として表彰される功労賞を受けました。

○新型コロナウイルス感染防止対応

緊急事態宣言が全国的に解除（令和3年10月）され、寮生の外出・帰省による感染リスクは以前に比べ低くなりましたが、集団生活である寮生活において感染防止対策は未だ必要不可欠です。昨年に続き、寮内においてコロナ対策が無くなることはありません。これまでと同様にコロナ禍の対応として、点呼方法の変更、補食談話室や食堂、浴室等の共有スペースの利用制限、三密回避の徹底、手洗いうがい、マスク着用、換気、消毒の励行等の取り組みを実施しておりますが、感染状況により、浴室使用の制限や食堂の配膳方法等、緩和して対処しています。

感染防止には各自の責任ある行動と、ご家庭の協力が必要不可欠です。今後ともご協力を宜しくお願いします。集団生活では一人の身勝手な行動が大きな影響を及ぼすことを理解し、互いに協力し責任ある行動がとれる学生に成長することを期待しています。

広報活動

広報主事 平井 剛和

1. 令和3年度の主な取組

例年実施している活動は以下のとおりです。新型コロナウイルス感染症のため一部活動が制限・中止となった事例がありましたが概ね実施できました。

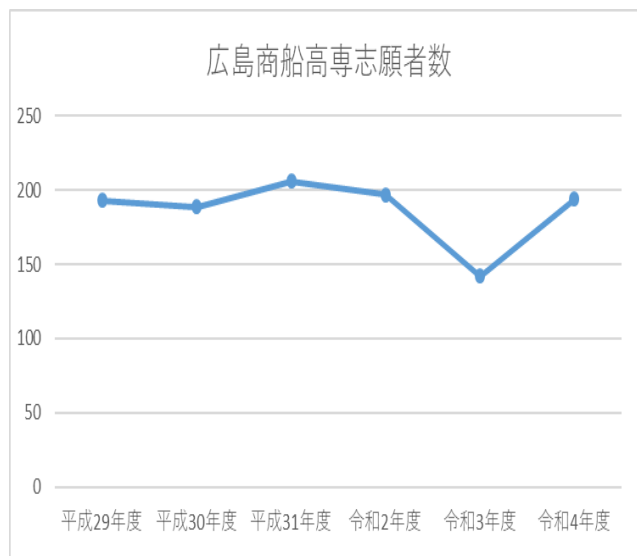
- ・ 4月 大崎上島中学校の研修
- ・ 6月 商船系高専5校合同進学ガイダンス（神戸）
国公立高専合同説明会（東京）
- ・ 7月 進学説明会（広島市）を実施
- ・ 8月 商船系高専5校合同進学ガイダンス（横浜） → オンラインに変更
公開講座 オープンスクール（第1回目）を2日間実施
- ・ 9月 国公立高専合同説明会（大阪）
- ・ 10月 オープンスクール（第2回）を2日間実施
ノーベル学習館進学説明会にオンラインで参加
- ・ 12月 国公立高専合同説明会（横浜）にオンラインで参加
- ・ その他 県内中学校からの要望による出前授業，進路説明，個別説明会
進路説明会16校，出前授業25校，個別説明会11件
県内の中学校を訪問（主事・特命教授・有志教員）

2. 入学生の状況，情報の共有

今年の本校を第一希望もしくは専願者数は194名となり前年度に比べ約50名程度増加しました。

令和2年度はコロナ禍の影響で広報活動が制限されたため志願者が大きく減少し，合格ラインが下がったこともあり，志願者が増加したと考えられます。特に令和3年度に過去5年間の最低水準まで落ち込んだ広島県東部・北部および県外からの志願者数が今年度は過去5年間で最高水準となりました。また，女子の志願者数も過去5年間で最高水準となりました。

今後の広報活動も制限された形での実施となりますが，学生主体の広報活動，学生による学校紹介や女子学生の活躍等を発信できるようにしたいと考えています。



3. 今年度の取組

- (1) 中学校（中学校教諭）との連携強化
- (2) 教育コーディネータの配置(2人)
- (3) 本校主催の進学ガイダンスを広島・福山で開催予定（5月・6月）
- (4) 本校でのオープンスクール（8月と10月に開催）

進路指導 一商船学科一

商船学科 就職担当 内山 憲子、茶園 敏文

1. 進路概要

図1に商船学科の過去5年間（平成29年度～令和3年度）の進路状況を示します。全体の傾向として、航海コース・機関コースともに平均すると約7割が海上職、約1.5割が陸上職、残り1割が進学といった状況です。

令和4年9月に卒業予定学生の進路状況（内定状況）を表1に示します。令和3年度5年生は、約76%の学生が船員としての海上就職予定となりました。そのうち、外航船員として内定が10名、内航船員として内定が21名（合計31名内定）となっています。

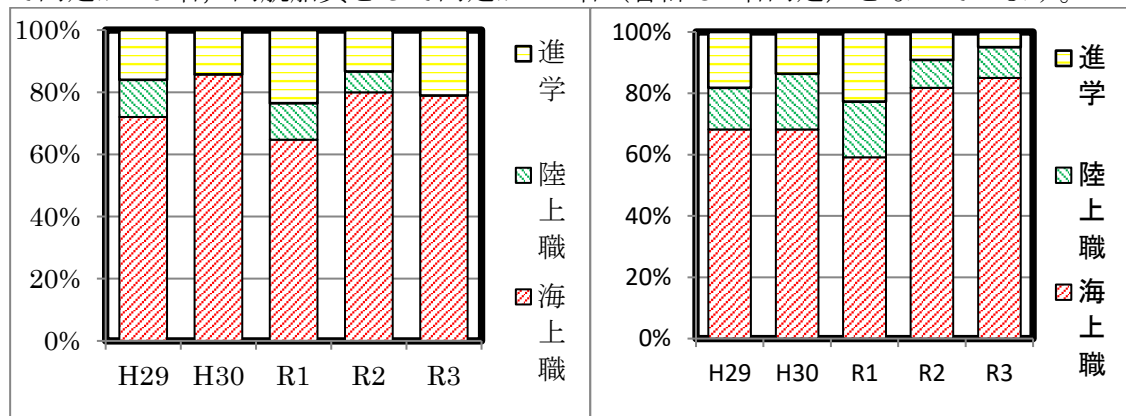


図1 過去5年間の進路状況（左：航海コース，右：機関コース）

表1 令和4年9月卒業予定学生の進路状況

航海コース（21名）	海上：15名	陸上：0名	進学：4名
機関コース（21名）	海上：17名	陸上：2名	進学：1名
商船学科（42名）	海上：76%	陸上：5%	進学：12%

2. 求人・求職の傾向

近年の求人は、外航船社ではもちろんですが内航船社においても2級海技士の筆記試験合格を入社条件としている会社も多いため、よりレベルの高い資質が求められています。

海上職・陸上職ともに、就職に際しては基礎基本の知識を有していることは当然のことながら、社会人としての責任感・協調性・社会性などのコミュニケーション能力が強く求められる傾向にあります。

海上職を目指す学生の場合、外航を志望する学生は毎年一定数いますが、数ヶ月から数週間の短期航海の内航船員を希望する学生もいます。

3. 進路指導

(1) 低学年に対して：学科長や就職担当者がホームルームの時間を利用して、就職や進学を含めた進路についての指導を行っています。不定期ではありますが、造船所見学や本校練習船の寄港地での港湾施設見学等も取り組んでいます。卒業生の講演等の機会を設定して海事関連の仕事に対する理解を深める取り組みも行っています。

(2) 高学年に対して：商船学科では担任と就職担当を中心に、本人の希望・適性・成績等を踏まえ、希望調査・個人面談等を行いながら進路を決定しています。

5年生は帰校後、直ちに就職活動が開始されます。

(3) 今年度は、コロナ禍により企業による会社説明会も実施できませんでしたが、学生の入社試験は無事受験できました。

進路指導－電子制御工学科－

電子制御工学科 就職担当 成清 勝博

1. 進路の概況

令和3年度の求人状況は、求人企業数が500社以上であり、新型コロナの影響はほとんどなく非常に恵まれた状況でした。卒業生47名のうち6名が進学し、41名が就職しました。就職先の職種としては、エンジニアとして機械、電気、情報、制御等の専門的な技術の仕事に携わります。

2. 進路状況

(1) 就職

卒業生の就職先の業種は44%が製造業で、22%が電気・ガス・熱供給・水道業です。また、17%がサービス業、11%が建設業です。今年度は、41%の卒業生が県内の企業に就職し、中四国地区の企業に就職する学生を含めると49%の学生が中四国地区で活躍します。例年より地元志向が強くなっています。下表に卒業生の進路先を示しています。

(2) 進学

進学の割合は13%です。

大学への進学者は3名、本校専攻科への進学者は2名、専門学校へ1名です。

令和3年度卒業生の進路先(電子制御工学科)(R4.3.31現在)

	内定進路先	人数	内定進路先	人数
就職	ダイキンエアテクノ	1	中国電力	1
	富士電機	1	中国電力ネットワーク	3
	古川製作所	1	関西電力	1
	名南製作所	1	ヒロテック	1
	メタウォーター	2	三菱電機ビルテクノサービス	1
	三菱電機プラントエンジニアリング	2	ダイコーテクノ	1
	J-POWER ジェネレーションサービス	1	J-POWER ハイテック	1
	NTT フィールドテクノ	1	日立ハイテクフィールドディング	1
	ENEOS	2	日鋼設計	1
	ディスコ	1	ヒロタニ	2
	村田機械	1	日立建機日本	1
	矢崎グループ	1	ジョンソンコントロールズ	1
	フジテック	1	協同精機	1
	キャノンメディカルシステムズ	1	アスパーク	1
	ユノス	2	ユーテック	1
	西日本高速道路エンジニアリング	1	東邦亜鉛契島精錬所	1
	熊本計算センター	1	A-gsk	1
進学	愛知教育大学	1	環太平洋大学	1
	広島文教大学	1	広島商船高等専門学校専攻科	2
	バンタンクリエイターアカデミー	1		

進路指導—流通情報工学科—

流通情報工学科 進路指導担当 加藤 博明

1. 進路指導（学科の取り組み）

5年学級担任が進路指導を担当し、学科全体で連携を取りながら指導にあたっています。就業意識を高める試みとして、①低学年時からの就職講義の導入、②4年生全員のインターンシップ参加、③OB・OGによる講演会、④職業適性試験・基礎能力試験の実施などの多岐に渡る就職支援プログラムを実施しています。また、公務員志望者の学生を応援し受験を突破する実力をつけるため、公務員講座を開催しています。コロナ禍で現地参加型のインターンシップなどは困難な状況もありましたが、オンラインでの業界研究セミナーなどを実施しました。

2. 進路の概況

令和3年度の卒業生は35名（男子23名，女子12名）です。このうち、就職希望者は30名，進学希望者は5名となっています。就職先企業の業種の内訳については、情報通信業が41%，物流業が21%，製造業が21%，その他 サービス業などが続きます（図1）。今年度は、関東地方が40%，関西地方が17%，そして、40%の卒業生が広島県を含む中国地方の企業に就職しています（図2）。関東地方に行く卒業生は情報通信業が多い傾向にはありますが、最初の数年の研修後には広島を中心として中国地方に配属されるケースも多いようです。表1に卒業生の進路一覧を示しています。

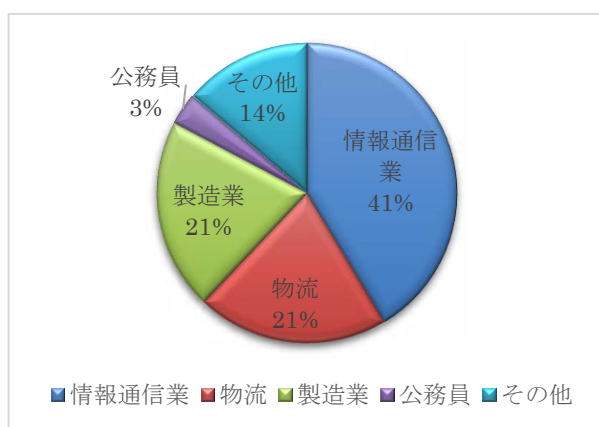


図1 業種別就職先

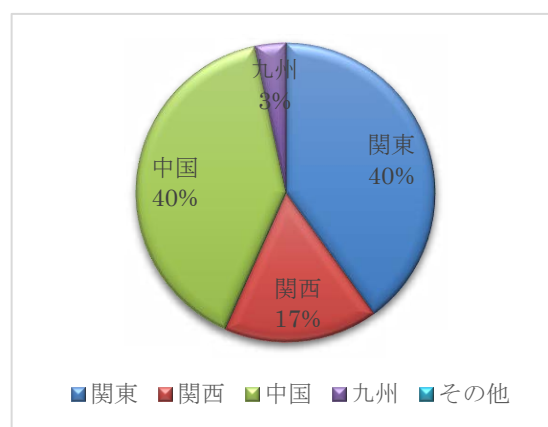


図2 地域別就職先

表1 進路一覧

就職	情報	CTCテクノロジー㈱, 合同会社DMM.com, ㈱FIXER, NTTコムエンジニアリング㈱, ㈱NTTデータ中国, ㈱USEN-NEXTホールディングス, 三原テレビ放送㈱, 日通情報システム㈱, 日立物流ソフトウェア㈱, 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン㈱, 富士通㈱, リコージャパン㈱
	物流	川崎陸送㈱, ゲイソーロジスティクス㈱, ケイヒン港運㈱, ㈱ティーユーロジネット, ㈱ES, 山九㈱, ㈱日陸
	その他	ダイキンHVACソリューション中四国㈱, パナソニック㈱グローバル調達社, マツダエース㈱, ㈱MBM, 光洋機械産業㈱, 新日本空調㈱, 東洋製罐㈱, ㈱ワールドインテック, 広島県警察
進学	長岡技術科学大学, 広島商船高専専攻科	